

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000415
事業所名	グループホーム猿投の楽園

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域交流がコロナ禍前の状態には戻っていないが、ホームや認知症を理解してもらうため、地域への啓発を行っている。 交流館での「観桃会」には、毎年利用者の作品を出展している。 地域の過多が、通りすがりに季節の花をプレゼントしてくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年間6回の運営推進会議は、感染症が蔓延した際には書面開催としたが、他は通常の対面開催としている。 多彩なメンバーが参加し、ホームの報告に続き、活発な意見交換がある。 地域には多くの区長がおり、交代で会議に出席することから、毎回丁寧にホームの状況や認知症について説明している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	家族に関する困難事例があり、市・高齢福祉課の仲介で「寄り添い支援課」と連携して対応している。 寄り添い支援課が主導し、関係者によるコア会議も行われた。 地域包括支援センターと調整し、認知症カフェの再開を検討している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	事前予約や30分の時間制限はあるが、家族面会はほぼコロナ禍前の状態に戻っており、居室での面会が可能である。 利用者個々に作成される「イチジク便り」やブログが家族から好評を得ている。 利用者だけでなく、家族にも寄り添う姿勢でホーム運営が行われている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○	○						